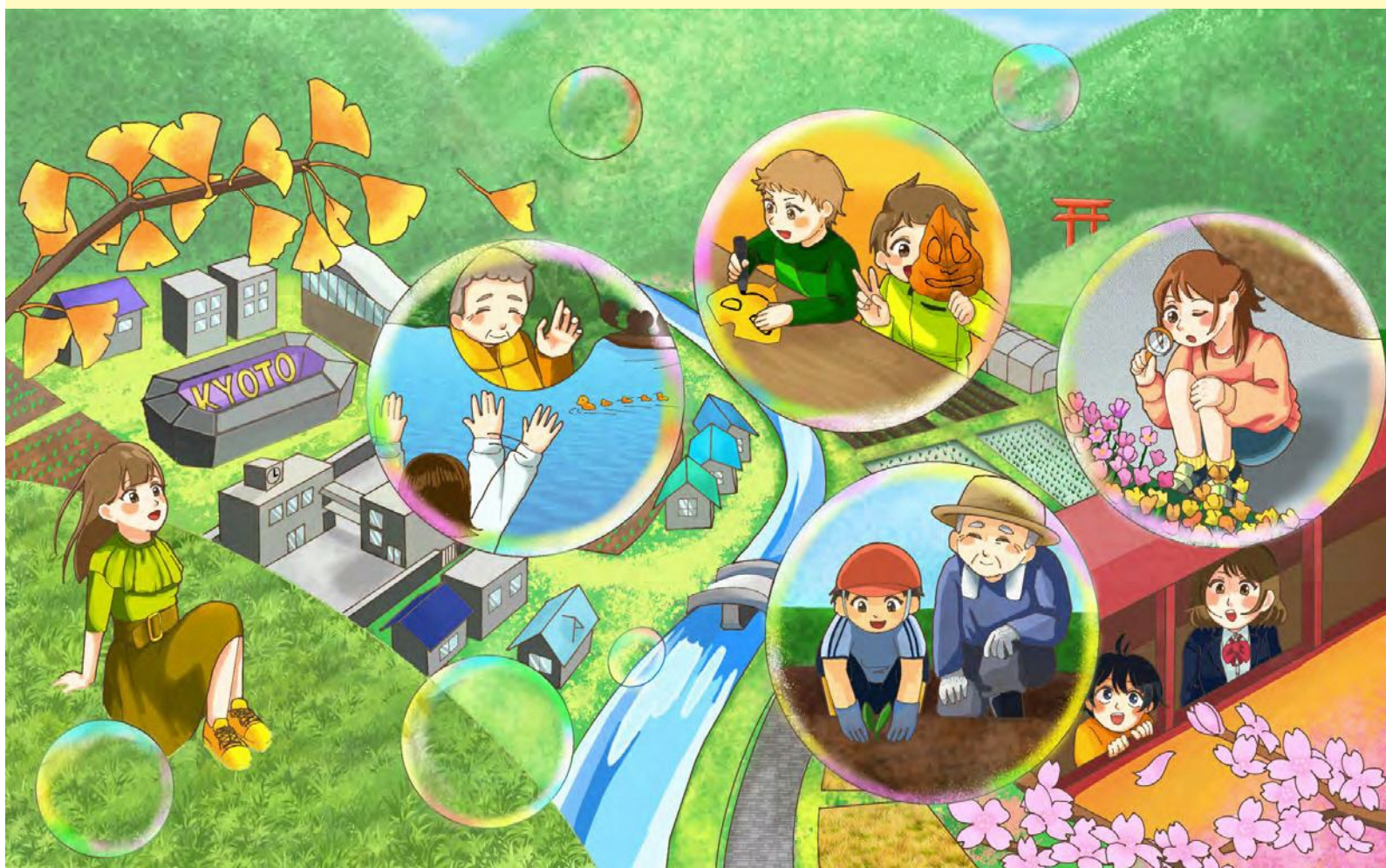


亀岡市水と緑の基本計画



はじめに

亀岡市長

桂川 孝裕



私たちのまち亀岡は、豊かな自然環境に恵まれた素晴らしいまちです。身近にある公園のほか、潤いをもたらす河川や池、亀岡盆地を囲う里山、農地など、私たちの生活を支える水と緑に溢れています。さらには、そのような環境の中で育まれた歴史や文化、農の営みによる食の恵み、次世代へと受け継がれていく暮らしの全てが、この亀岡の魅力となっています。

このたび改定しました「亀岡市水と緑の基本計画」は、皆さまがこのような本市の魅力を再発見し、地域資源を通じた生活の中で人と人が繋がり、その触れ合いによって幸せが広がっていくことを目指しています。折しも令和8年の秋には日本最大級の緑のイベントである全国都市緑化フェアが亀岡市を含む京都丹波地域において開催されることが決定しました。それを好機としまして、全国都市緑化フェアに関連した取組を積極的に行うことで緑に触れ、人々の心が通い合う機会をさらに増やしていくことができると考えております。

今後、この計画の取組を通じて、市民の皆さまとともに豊かな水と緑に彩られた亀岡でのライフスタイルを更に輝かせ、これからも住み続けたいと思えるまちづくりに、より一層取り組んでまいります。

最後になりますが、本計画の改定にあたり御協力いただきました策定委員会委員の皆さま、市民ワークショップに御参加いただいた皆さまをはじめ、多くの方々に御意見をいただきましたことに感謝を申し上げます。今後とも本計画の取り組みの推進にあたりましての御協力をお願い申し上げます。

令和6年3月



「緑とともに楽しい市民生活を」

亀岡市水と緑の基本計画策定委員会委員長

東京農業大学名誉教授・元学長

福井県立大学名誉教授・前学長

進士 五十八



これまで公園や緑地などの緑に関する行政の姿勢としては、都市化に応じて国が法律的な枠組みを作り、全国的に公園を増やそうとしてきました。それは他の先進国と比較して国民1人当たりの公園面積が少なかったからです。しかし、私からすると公園は少なかったかもしれませんが、日本にはたくさんの庭がありました。一方でロンドンのまちでは個人の庭があるのは一部の人たちだけで、他の市民は庭らしいものをほとんど持っていなかったのです。だからイギリスをはじめとする先進国では公園が必要という政策になったわけです。つまり、パブリックかプライベートかの違いがあるだけで、日本のまちには十分に緑があったということです。加えて近年では人口が減少し、新たに公園を増やしていく必要性もなくなってきました。また、都市化が進むとどうしても効率化せざるを得なくなり、まちづくりが人工化・画一化します。戦後の経済成長下ではそれが「アーバンデザイン」の名で展開されましたが、その自然環境への視点の欠如、無機的美に危機感を覚え私が新たに強調しているのが、地域性であり、郷土性です。それは、当に亀岡の魅力である豊かな緑をどのように保全活用していくかを考えることなのです。

この「水と緑の基本計画」がこれまでにない新たな計画として活用されていくためには、公園整備を主としたこれまでの緑の基本計画ではなく、水循環や治水、「農」とのふれあい、観光等あらゆる角度から、あらゆる場面で緑に触れる計画であることが必要です。それはつまりグリーンエコライフの実践なのです。グリーンエコライフによって、環境をはじめ食、農、歴史、文化、芸術、観光といった様々な要素がつながっていきます。この計画は単なる公園や緑地に関する計画でなく、水と緑と市民生活福祉に関する総合計画なのです。

こうした考え方に基づいた水と緑の基本計画をもとに、みなさんで考えたアイデアが様々な取組として具現化し、人々が緑とともに幸せいっぱい充実した市民生活を愉しみ、域外からも多く人が訪れ幸せ広がる「ハッピーなまち・亀岡」の人のいる風景が現出するのを楽しみにしております。

令和6年3月





目次

序章	水と緑に彩られた亀岡ライフスタイルを誇り、受け継ぎ、活かす	5
第1章	亀岡市水と緑の基本計画の改定の進め方	8
1.	亀岡まるごとガーデン・ミュージアム構想と亀岡市水と緑の基本計画	8
2.	亀岡市水と緑の基本計画の特色	9
第2章	亀岡の水と緑をどのように輝かせるか	11
1.	基本理念	11
2.	多様な視点から計画を進めていくための目標	11
3.	基本方針	13
第3章	亀岡ライフスタイルを実現するための取組	15
1.	取組一覧と実施期間	15
2.	取組の方向性	20
資料編		69
1.	本計画の位置づけ	69
2.	水と緑に係る亀岡市の現況	73
3.	計画検討上の主な課題	78
4.	亀岡市水と緑の基本計画策定委員会および亀岡市水と緑の基本計画策定に係る市民ワークショップの概要	82
用語集		84

本計画に掲載している写真のうち、下記は所有者から提供いただきました。

44 ページ ガレリアかめおかで開催された京都サンガ F.C.の試合のライブビューイング

46 ページ 亀岡市内の事業者などが行っている森づくり活動

56 ページ 「亀岡の名木めぐり」の様子

58 ページ 「かめおか緑花フェア」の様子





亀岡に暮らす大人、子ども、通勤通学で訪れる人々、観光客、そして移住の地として亀岡を選ぶ人々…
全ての人々を受け入れる亀岡盆地は、春夏秋冬それぞれに輝く場所や時間帯があります。
暮らしている人々にとっては当たり前の日常風景も、外から訪れる人々にとっては夢の世界です。



市内に流れる桂川やその支流から形成される亀岡盆地では、日々の生活の中に水とのふれあいがあります。
京都府立京都スタジアムには多くの人が訪れ、桂川と牛松山が訪れる人々を歓迎してくれます。





実りの秋には、黄金色に輝く美しい田園の風景が広がります。
亀岡には、食と農を通して、子どもたちに伝えたい風物詩や、子
育て世代にとって魅力的な体験がたくさんあります。



歴史の積み重ねの中で受け継がれてきた先人の遺産が今日の私たちの暮らしのすぐそばに息づき、まちを歩けばいたるところで亀岡の悠久の歴史を感じることができます。

